

小学校第 6 学年

国語 B

注 意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1 ページから 14 ページまであります。
問題用紙のあいている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、
全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HB または B の黒えんぴつ（シャープペンシルも可）を使い、こく、はつきりと書きましょう。
また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、40 分間です。解答が早く終わったら、
よく見直しましょう。
- 6 机つくえの上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、
解答用紙に、学校名、組、男女、個人番号①、
個人番号②をまちがいのないように書きましょう。

問題は、次のページから始まります。

松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、立場を決めて話し合うことにしました。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

司会

自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について、三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこれから言葉をどう使っていくとよいかについて全員で話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

田中

ぼくは、言葉はみだれていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を選んだ人は四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使い方をしているようです。

北川

私も、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いからです。例えば、「今年もよろしくお願いします」を「ことよろ」と言うことがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

小池

私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では、「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、あとにくるのが打ち消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは言えないと思います。

司会 ありがとうございます。それぞれの発表に対して質問はありませんか。

★木村 小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

小池 例えば、「見れる」という言葉があると思います。私たちは「見ることができる」という意味で使っていますが、辞書には、本来は「見られる」と言うべきものと書かれていました。

司会 ここまで代表の人に考えを発表してもらいました。田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉はみだれているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉はみだれているという考えでした。小池さんは、言葉の使われ方は時代によって変わるものだから、言葉はみだれていないという考えでした。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。

金子 田中さんが話したように、ぼくも本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。
これからは、よく使っている言葉でも、疑問^{ごもん}をもったときは意味を調べてみたいと思います。

青木 本来の意味とは異なる使い方をしていると田中さんは言っていました。そのような使い方をしても、自分の思いが相手に伝わることはあると思います。
相手の理解を確かめながら言葉を使っているように思います。

◇司会 金子さんや青木さんは、これから言葉をどのように使っていきたいかについて話していました。みなさんも、そのことについての自分の考えも話してください。

松山

（話し合いが続く）

一 【話し合いの様子の一部】の★木村さんは、何のために質問をしたと考えられますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 発表の中で自分が聞きのがしたことをもう一度聞くため。
- 2 相手の考えの中で最も伝えたいことをたずねるため。
- 3 相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため。
- 4 具体的な例がほかにもあるかを確かめるため。

二 【話し合いの様子の一部】の司会は——部のように発言することによって、この話し合いの中でどのような役割を果たそうとしていると考えられますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 話し合うことを明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている。
- 2 立場を明確にして話し合うために、最もよい考えを選び出そうとしている。
- 3 活発な話し合いにするために、時間や約束を守るように注意しようとしている。
- 4 発言回数に気をつけながら、話し合いを計画的に進めようとしている。

星野さんは、給食の献立こんだての一つである「かみかみあえ」のよさをもっと知ってもらい、各家庭でもメニューの一つに加えてほしいと思っています。次は、星野さんが以前書いた「かみかみあえ」についての【紹介する文章】と、それをもとにしておうちの人に書いて書いている【おすすめする文章】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

かみかみあえ



【紹介する文章】

「かみかみあえ」は、※するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。そのため、このような名前がついています。

するめのほかに、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいりどりも考えられています。

ちゅうかふう中華風ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいます。

※「するめ」…イカを干した食品

【おすすめする文章】

「かみかみあえ」は、するめが入っているあえ物です。よくかんで食べることから、このような名前がついています。うちのの人に、この「かみかみあえ」を、サラダやあえ物のメニューとしておすすめします。

するめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいりどりも考えられています。中華風ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいて、たまらないおいしさです。

特におすすめしたい理由は、次の二つです。

一つ目の理由は、「かみかみあえ」が、人気のこんだてであることです。

六年一組で以前行ったアンケートでは、サラダやあえ物のうち、好きなこんだての上位三つに入っていました。六年一組では、「ツナマヨサラダ」と同じくらい人気があるこんだてです。きっと、ほかの学級でも好きな人が多いと思います。

二つ目の理由は、「かみかみあえ」にむし歯を防ぐ効果があることです。

同じサラダやあえ物の中で人気のこんだての一つである「ツナマヨサラダ」と比べると、「かみかみあえ」の方が、よりむし歯を防ぐ効果があります。

「かみかみあえ」は、

おいしくて、みんなに人気があり、歯の健康を保つことにもつながる「かみかみあえ」をぜひ、うちのメニューの一つに加えてください。

一 星野さんが【紹介する文章】をもとにして書くときに、【おすすめする文章】の最初の部分に
のよう^①に書いた理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、
その番号を書きましょう。

- 1 疑問^{ぎもん}を提示し、読者が興味をもって読めるようにするため。
- 2 自分が伝えたいことを述べ、読者の理解を助けるため。
- 3 具体的な例を多く挙げ、読者に納得^{なっどく}してもらうため。
- 4 自分の経験を述べ、読者の経験と比べて考えてもらうため。

二 星野さんは、「かみかみあえ」のむし歯を防ぐ効果に着目して【おすすめする文章】の
書くことにしました。そこで、以前メモしていた【保健室の先生の話から分かったこと】を取り
入れてくわしく書く^②こうとしています。



に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【保健室の先生の話から分かったこと】

食べ物をよくかむと、

- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
- だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。
- まんぷく感が得られ、食べ過ぎにならない。
- 食べ物本来の味が分かるので、うす味の食事に慣れる。
- だ液の量が増え、消化がよくなる。

〈条件〉

- 【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○【おすすめする文章】にふさわしい言葉を用いて書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

[illegible]

80字

三 星野さんは、【紹介する文章】をもとにして【おすすめする文章】を書くときに、どのようなふうをして書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 おうちの人に深く考えてもらうために、経験を思い起こすことができるようにしている。
- 2 おうちの人に納得してもらうために、よい点だけではなく、よくない点も示している。
- 3 おうちの人によさを理解してもらうために、ほかのものと比べている。
- 4 おうちの人に自分のこととして考えてもらうために、疑問を投げかけている。

山下さんは、日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士^{ゆかわひできはかせ}について書かれた伝記「湯川秀樹」を読み、最も心がひかれた一文とその一文を選んだ理由をまとめることにしました。次は、山下さんの【ノートの一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノートの一部】

湯川秀樹（一九〇七年～一九八一年）

物理学者。全てのものは非常に小さいつぶからできており、そのつぶに関する新しい考えを導き出した。その後、日本人で初めてノーベル賞を受賞し、戦後の日本に希望をもたらしした。



心に残った行動や成しとげたこと	思ったこと
おさないころの湯川博士は、一人で黙々^{もくもく}と積み木に熱中していた。長い時間、積み木を重ねたり組み合わせたりして、家や門を作っていた。	物事への熱中の仕方がすごい。わたしもパズルに熱中することがあるけれど、そんなに長くはできない。
A 小学校に入る前から高校のはじめのころまで書道を習っていた。最初は兄弟姉妹^{しまい}の全員が習っていたが、兄たちはいつの間にかやめてしまった。だが、湯川博士は習い続け、様々な書き方を身につけた。	続けることは大変だけれど大切だ。わたしは水泳を習っている。やめたいと何度もあったが、続けたことで、長く泳げるようになった。

数学によって考えることの喜びを教えられた。
むずかしい問題に出会うとファイトがわき、夢中にな
って解いた。夕食を知らせる母の声も耳に入らず
解いていた。

わたしはむずかしい問題は、す
ぐにあきらめてしまう。湯川博士
はなぜそこまで夢中になれるのだ
ろう。

大学を卒業した後も引き続き大学に残り研究を続け
たが、なかなか成果を出すことができなかった。研究の
見通しがつかず、苦しい日々が続いていた。

湯川博士も苦しいと思うときが
あったということにおどろいた。

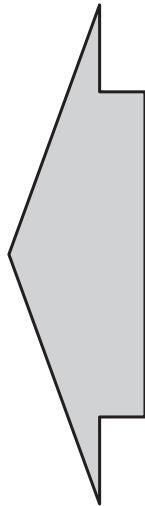
B

家族から外国への留学をすすめられた湯川博士は、
自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出か
けたくないと断った。自分の力で、やれるところまで
やってみたい。何度失敗してもよいと考えた。

一度始めたことはなかなかやめ
ないという湯川博士のことをよく
表している。

C

最も心がひかれた一文とその理由



「山下さんは、『ノートの一部』の **A** について、もっとくわしく知りたいことがあったので、湯川博士が自分のことを書いた本である『自伝「旅人」の一部』をさらに読みました。山下さんはどのようなことが知りたくて次の文章を読みましたか。その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【自伝「旅人」の一部】

(湯川秀樹『旅人 ある物理学者の回想』による。)

(湯川秀樹『旅人 ある物理学者の回想』による。)

- 1 湯川博士が自分自身をどのように思っていたのか。
- 2 湯川博士がどのような書き方を身につけたのか。
- 3 湯川博士がどのような研究に取り組んでいたのか。
- 4 湯川博士の兄弟姉妹はどのような様子だったのか。

二 山下さんは、最も心がひかれた一文として、**B**の中から「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」を選びました。そして、【ノートの一部】の**C**を書くために、もう一度伝記「湯川秀樹」を読み返しています。次の【伝記「湯川秀樹」の一部】を読み、**C**の に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【伝記「湯川秀樹」の一部】

秀樹は、大学を卒業した後も引き続き大学に残って研究を続けたが、なかなか成果を出すことができなかった。そのころ世界では、秀樹が取り組んでいる研究の分野で新発見が相次いでいた。研究の見通しがつかず、秀樹にとって苦しい日々が続いていた。

昼夜を問わず、秀樹の頭の中には研究のことがあった。ふとんに入ってからも研究のことを考え、次々にうかんでくるアイデアをわすれないために、まくらもとにはノートを置くようにした。そして、アイデアを思いつくごとに電灯をつけてノートに書きこむようにし、ねばり強く考え続けていた。秀樹は、だれも知らない真実を探ろうとしていたのである。

C

最も心がひかれた一文とその理由

この言葉は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたたくない、と留学の話を断ったときの湯川博士の言葉である。

湯川博士はおさないころから、積み木に熱中したり、書道にしんぼう強く取り組んだり、一度始めたことを最後までやりとげようとしていた。
また、

「自分の力で、
やれるところまで
やってみたい。」

これらのことから、「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文は、ねばり強く物事に取り組む湯川博士のことをよく表していると思った。

わたしは、勉強やスポーツに取り組んでいるとき、とちゅうであきらめてしまうことがある。これからは湯川博士のように、ねばり強く最後までやりとげるようにしていきたい。

〈条件〉

- なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」という一文に心がひかれたのかを考えて書くこと。

○【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

[illegible]

これで、国語Bの問題は終わりです。

